

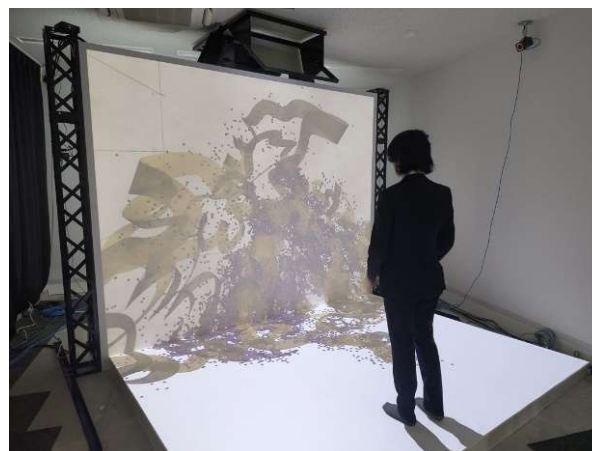
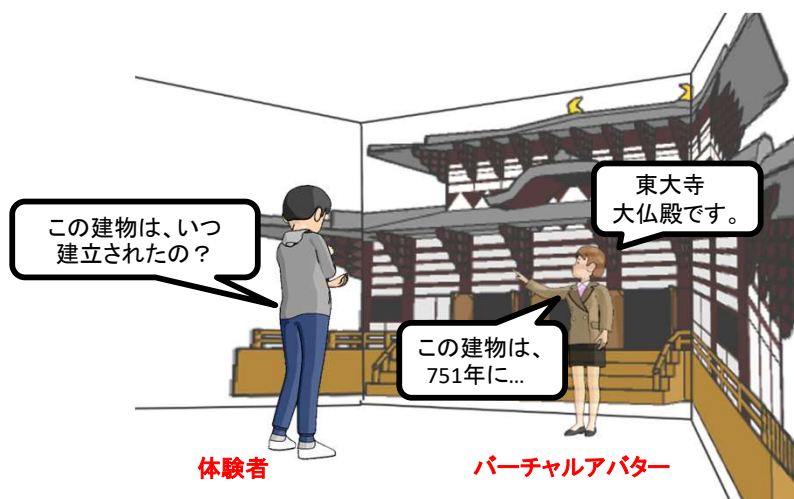
「多面大型ディスプレイを用いたXRメタバース空間の構築とその活用」

田村 祐一 知能情報学部 教授(バーチャルリアリティ) 2025~2028年度

1. 目的

大画面に立体映像を提示し、観察者がその空間内を自由に移動・観察できる多面型のXR(VR・ARなどを含む)ディスプレイシステムを構築する。また、本システムには、コンテンツの理解や学習を支援する対話型アバターを組み込み、ユーザとのインタラクションを可能とする。

2. 研究内容



研究データ可視化
XRディスプレイ1期
+タンパク質データ
(生物学科と連携)



神戸北野 風見鶏の館での
文化財3次元復元イベント実施
裸眼立体ディスプレイ+3次元測定
(文学部と連携)

3. 期待される成果(社会へどのように役立つか)

立体映像+触覚で観察することで直感的に様々な現象の理解・学習を助けることを可能とする。
本学の研究を「みえる・わかる」形で対外的にアピールできる基盤を構築する。
本学だけでなく、地域の貴重な情報をデジタルアーカイブし、立体データの共有を可能とする。